

農村情報ネットワークを活用した 「観光林業」の可能性

東京農工大学・農学部・地域生態システム学科2年・西村和海

自己紹介

長崎県島原半島出身。

高校時代から映像制作をはじめ、現在は大学関係で映像制作やライブ配信に取り組む。

映像制作者向けサービスを展開するVookでインターンをやっているため、卒業が一年遅れる予定。

2022年からは府中観光協会での有給学生インターンシップ募集に携わり、対価がある形での「地域×学生」の形を模索している。

はじめに

林業従事者は減少の一途を辿っている。

→授業でも、他産業と比べて労働災害が多いと聞いた

大学に入学して唯一入ったサークルが、
林業を行うサークルでした。

活動に行ってみて感じたこと

→森に入って色々作業できるのは、意外と楽しい

はじめに

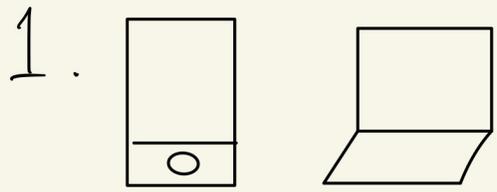
府中市のいちご農園を最近取材した。

いちごの収穫体験だけでなく、いちごを使ったスイーツも楽しめる。

→とても盛り上がっていた

農作業の体験を行う観光農園のようなサービスを、
林業の形で提供できないか？

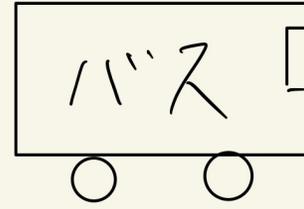
農村情報ネットワークを活用すると可能性が広がりそう。



スマホ・PCから

1. 観光林業を知る
2. 体験に申し込む

2. 当日



- ・ 山に向かうバス内でインストラクターから講習を受ける

3. 山に入ってから



- ・ インストラクターに適度に指導してもらいながら、林業体験を行う。
- ・ 無線局があることで、体験をSNSで共有してもらえる
- ・ 作業に慣れた観光客には自由に行動してもらえるようにしつつ、自立制御型ドローンによる定期的な見守りを兼ねた記念写真撮影サービスの提供
- ・ 土壌センサー等を用い、近辺の安全性を常時モニタリング

観光ツアーの解説

1. 観光林業を知ってもらう

SNSやYouTubeなどで、林業体験を行えるツアーがあることを知ってもらう。

2. インストラクションを受ける

都心から山までは時間がかかるため、バスの移動時間を使って諸々の説明を行う。

観光ツアーの解説

1. 観光林業を知ってもらう
2. インストラクションを受ける
3. 実際に体験を行う

インストラクターの指導のもと、林業の体験をしてもらう。

農村情報ネットワークの活用

- **体験を、即座にSNSで共有してもらえ**

Instagramを始め、写真や動画を手軽にアップロードできることで、新鮮な体験の情報を体験者の知人に広めることができる。

- **自立制御型ドローンを飛ばせる**

観光客に自由行動してもらおう場合でも、ドローンを使って定期的に見守りを行える。

ついでに記念写真・動画を撮影するサービスも提供できる。

(もちろん技術的・法整備的に課題はあるものの)

農村情報ネットワークの活用

- **体験を、即座にSNSで共有してもらえ**
- **自立制御型ドローンを飛ばせる**
- **その他センサによる安全性モニタリング**
土壌水分センサーを使って降雨後の地滑りリスクを見積もる
生体センサーやカメラを使って野生動物をモニターする

今後の展望

「副業としての林業」もできないか考えたい。

インターンを終えて大学に復帰するので、林業サークルの活動も再開しながら観光林業のやり方を模索していきたい。